Project No.20251017

銀行業務研修・中級

第128回 収益管理・リスク管理入門コース

(関係部門へご回覧ください)

信用リスク管理の基礎

(オンライン同時配信)

本コースは、信用リスク管理の基礎セミナーです。信用リスクの定義から始めて、内部格付モデルの構築と検証、信用リスクの計量化、経営マネジメントへの活用など、信用リスク管理全般にわたり重要事項を分かりやすく解説します。質疑応答の時間を多くとって、完全理解を目指します。

受講者の対象は、信用リスク管理の経験の浅い社内・社外役員、リスク管理部門に配属されて間もない管理者、実務担当者の方々です。

開催日:2025年11月21日(金)1.0日間

会場:第2ニッキンホール(東京・市ヶ谷)

講師: デロイト トーマツ リスクアドバイザリー合同会社

ファイナンシャルサービシーズ

シニアマネジャー 石川 裕之 氏

主催:日本金融通信社

https://bunkup.nikkin.co.jp

※上記サイトからWebでの申しこみが出来ます

後援:一般社団法人全国地方銀行協会

- 一般社団法人第二地方銀行協会
- 一般社団法人全国信用金庫協会
- 一般社団法人全国信用組合中央協会

信用リスク管理の基礎

カリキュラム

10:00~16:30 (9:30 受付開始)

1. 信用リスクの定義と管理

2. 内部格付モデルの構築と検証

- (1)内部格付とは
- (2) データの収集
- (3)統計モデルと計測モデル
- (4) 財務指標の選択
- (5)表面財務と実態財務
- (6) 定性情報の反映
- (7) 外部モデルの活用
- (8)格付区分の設定
- (9) PD の推定
- (10) 定期的な検証

3. 信用リスクの計量化

- (1)簡単な信用リスク計量モデル
- (2) 1ファクター・モデル
- (3)信用 VaR
- (4) リスク・パラメータ

4. 債務者の自己査定と貸倒引当金

- (1) 自己査定の目的
- (2)債務者区分と債権分類
- (3)内部格付と自己査定
- (4)貸倒引当金の計算
- (5) 昨今のトピック

5. 経営マネジメントへの活用

- (1) 経営の観点から考える信用リスク
- (2) 採算管理・プライシング
- (3)資本配賦
- (4) ストレステスト
- (5) 与信限度枠と大口信用供与等規制
- (6) 審査管理の高度化
- (7) 昨今のトピック

6. 内部監査のポイント

- (1) 信用リスク管理における内部監査の役割
- (2) 内部監査で着目するポイント

FAXO3-3261-4570 セミナー事務局まで

17 第128回 収益管理・リスク管理入門コース 「信用リスク管理の基礎」

	ホームページ月	用受講申込書	(2025年1	1月21日	開講)
貴社名					
所在地	Ŧ				
TEL		FAX			
Eメール				オ	ンライン受講()
セミナー番号	参加者氏名	所属(部	・課・グルー	-プ)	役職
☆お申し返	込みいただきました方には、	受講証・請求書・	会場地図を郵送	送いたします。	0
受講料 4	A:D研会員価格 3	39,600円(本体価格36	5,000円)
i	B:BUNKUP 会員価格	41,800円	(本体価格38	B, 000F	9)
	C:後援団体会員価格 4	12, 900円	(本体価格39), 000F	1)
I	D:一般価格 4	46, 200円	(本体価格42	2, 000F	1)
お問い合わ	せは、株式会社 日本金	融通信社	<	昼食はこちら	で用意いたします>
TEL03	-3261-4550	FAX03-3	261-45	70 ま	で。
E メール=	k-info@nikkin.co.jp				
注:振込先銀みずほ銀行	表行 ・ 市ヶ谷支店 普通預金	1797042	(名義) ホ	株式会社 日本	本金融通信社
	日(できるだけご記力		月	日	
	てのお願い セミナー開催日までにお振 の場合は領収書を発行いたし				

- ③銀行振込に際しては、可能であれば貴社名の前に請求書番号の下3桁(枝番数字)を付記してください。 振込手数料は貴機関でご負担をお願い申し上げます。
- ④開催前、6日以内の受講キャンセルの場合、受講料の払い戻しはいたしません。
- ⑤講演中の録音・撮影ならびにパソコン・携帯電話の利用はご遠慮ください。
- ⑥諸般の事情により開催を中止させていただく場合がございます。
- ⑦オンライン受講の場合は、一人が1IDとなります。